

# Topics 福島

2018.9.27 No.83



第1棟の建設状況(中央奥の建物は施設管理棟)

## 大熊分析・研究センターの今

### 放射性物質分析・研究施設の整備 第1棟の建設進む

大熊分析・研究センターは、現在、大熊町の東京電力ホールディングス福島第一原子力発電所（1F）に隣接する敷地に「放射性物質分析・研究施設」を整備しています。本施設は、1F 事故によって発生した放射性廃棄物や燃料デブリの性状等を把握するための分析や研究を行うことを目的とし、「施設管理棟」、「第1棟」及び「第2棟」から構成されています。なお、施設管理棟は平成30年3月より運用を開始しています。

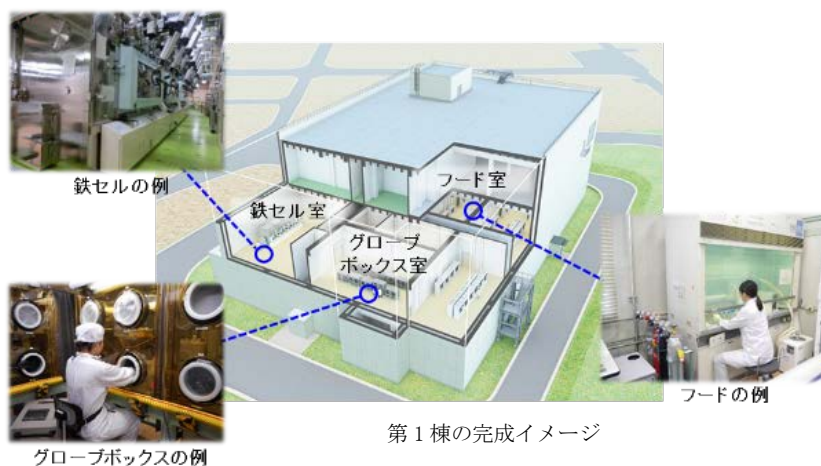


大熊分析・研究センター（放射性物質分析・研究施設）の完成イメージ

第1棟は、1Fのガレキ類、伐採木の焼却灰、汚染水処理二次廃棄物や解体廃棄物など低・中レベルの線量を持つ放射性廃棄物の分析を行う施設です。平成29年5月に着工し、本年2月には基礎工事が完了しており、現在は地上1階の工事と並行して、内装設備の製作を進めています。また、内装設備では、扱うものの線量に応じて、放射線の遮蔽・閉じ込め機能を有する鉄セル、グローブボックス、フードを使用します。

1Fの廃炉は、一般的な原子力発電所の廃炉と異なり、原子炉の構成部材だけでなく、がれきや建屋内部の機器、さらには木や土、草などにも事故によって飛散した放射性物質が付着し、放射性廃棄物として取り扱っています。こうした大量の放射性廃棄物について、どんな核種がどのくらい含まれているかを調べた上で、処理・処分の仕方を決めていかなければなりません。第1棟で行う分析は、このような放射性廃棄物の処理処分のやり方を決めるためのデータを取得することが目的です。

第1棟は、施設完成後は1Fの敷地内に組込まれるので上記の分析サンプルを1F構外に搬出することなく、構内で分析を行うことができ、これが最大のメリットとなります。今年度末までに地上2階床工事まで進捗する見込みで、平成32年度末頃に運用開始の予定です。



### Topics 福島 No. 83

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島事業管理部

〒970-8026 福島県いわき市平字大町7-1 平セントラルビル8階

TEL : 0246-35-7650 FAX : 0246-24-4031 HP : <https://fukushima.jaea.go.jp/>